

編集後記

昨年11月、ようやく楊慧先生をお迎えして支部交流・研修会が再開したかと思いきや、次の定例行事である今年2月の楊進先生の講習「規範教程勉強会」は直前で中止せざるをえなくなりました。しかし6月には、なんと3年ぶりに通常の定例総会を開催することができました。

コロナとの闘いは、このように、まるで太極拳の陰陽のかけ引きのごとく、押したり引いたりしながら、徐々に「収束」へと向かうのでしょうか（これを書いている間に第7波が始まりました）。

どうやら私たちは、当初期待していた「ポストコロナ」ではなく、「ウイズコロナ」の時代を生きていくことが求められているようです。

このコロナ禍の数年間には、知り合いの先生でコロナに罹患された方もいましたし、ある支部ではクラスターが発生したとも聞いています。

とはいえ、特にあれだけ多くの国民が感染した第6波の際にも、意外なほど私たち楊名時太極拳のお仲間の中からは感染者が少なかったのではないかと、という印象を持つのは私だけでしょうか。

これは何よりも、なんとしても太極拳を続けてい

きたいという思いから、皆さんが慎重に日常生活を送られてこられた賜物でしょう。

が、それだけではないようにも思うのです。

教室での活動を自粛していた期間でも、多くの方々の方が元気に過ごしてこられたのは「健康太極拳が免疫力を高める」ということを証明しているのではないかと——私はどうも最近そのように思えてならないのです。

私の場合も稽古の前には常に検温していますが、「なんでこんなにずうっと平熱なんだろう？」と自分で不思議に思うほどです。太極拳をやる前の超不健康だったサラリーマン時代は、しょっちゅう風邪をひいて会社を休んでいたのに（笑）。

皆さんはどう思いますか？

そのことをさらに実証できるように、11月の支部20周年記念式典に皆様と笑顔でお会いできることを、今は心待ちにしています。（結城靖博 記）



★投稿先は以下の通りです

- メール fwin8886@nifty.com
- 郵送 〒232-0071 横浜市南区永田北3-13-1
- 宛名 『浜太極』編集部

※投稿にあたってのお願い

- ・投稿は原則的にメールにてお願いいたします（写真は画像を添付してください）。
- ・やむをえず郵送される場合は、電話番号等の連絡先を明記願います（FAXでの投稿は不可）。
- ・本文文章量の目安は1000～1500字程度。写真は著作権・肖像権の許諾を得たものをお送りください。
- ・誌面の都合で投稿を掲載できない場合もございます。掲載の際は編集部よりご連絡申し上げます。
- ・編集部のルールに基づき、原稿に修正を施す場合があります。あらかじめご了承ください。

★「太極拳川柳・短歌」&「わたしの宝物」投稿随時大募集！！

太極拳川柳・短歌……季語にとらわれず、五七五か五七五七七に乗せて太極拳への思いを綴ってください。

わたしの宝物……楊名時太極拳つながりで心に残る写真を、ご投稿いただけましたら幸いです。

※投稿先はいずれも上記『浜太極』編集部まで。